

痛くないはり：レーザー治療器導入

「きく☆はり」創刊号はいかがでしたか。
第2号は、今回、当院で導入しましたレーザー治療器の紹介をします。

一般的にレーザーと聞けば、産業界では、計測・通信・加工等に利用されています。
医学においては、「レーザーメス」「あざの治療」等を思い出されると思います。
このような、医学で使用しているものを「高出力レーザー」と言います。

このほかに、疼痛緩解や創傷治癒促進の治療効果を出す「低出力レーザー」（ソフトレーザー）があります。
副作用が皆無に近いことが、極めて注目される点です。
さらに、i n t a c t（無傷）のまま照射できることから「針のない治療機器」とも呼ばれています。

現在、整形外科医のみならず、痛みの治療やペインクリニックに携わる麻酔科医等で使用されています。
肩こり・五十肩・テニス肘・肋間神経痛・腰痛（ぎっくり腰）・慢性関節リウマチ・関節痛等に効果を発揮しています。

私たち、^{しんきゅう}鍼灸（はりときゅう）治療においても、多くの臨床報告がされています。
当院でも、2月から治療に使用していますが、多くの患者さんに喜んでいただいております。

特に、鍼を始めて体験される方にとっては好評です。
それは、なんと言っても「痛くない」ことです。
ほとんど「何も感じない」ことが多いです。
血行が良くなるので、暖かく感じる方もいます。



<当院で使用しているレーザー治療器>

治療での例を挙げますと

「肩こり」で来院した患者さんを、触診してみますと、多くの方は、皮膚が「パンパン」と張っています。
原因は多々ありますが、肩周辺の筋が異常に緊張しています。
緊張している筋に「鍼を打つと」痛みが出る場合があります。
このような場合に、レーザー治療器を使用しますと、痛さがなく、筋を柔らかくすることが出来ます。
その後に、鍼で残った「こり」を除去します。
鍼での治療では、特有の感じ（業界用語では「響き」と言い、重ったるい感じ）は出てきますが、これを表現するのは難しいです。
ただ、痛さに敏感な方にとっては、楽に治療出来ます。
試してはいかがでしょうか。

頑固なコリの真犯人！

ためしてガッテン—NHK

2009年3月4日放送

“慢性病”徹底対策2

放送された番組は、大変判りやすい内容でしたので、ダイジェスト的に、載せたいと思いました。

<番組のテーマ>

温めても、もんでも治らない、なぜか長引く「慢性痛」なかでも、多くの方が悩んでいる、肩・首・腰の痛み。それってただのコリじゃないの？思ったら大間違い！

普通のコリならば、もんだり温めたりすれば治るはず。それでも治らない場合は、コリではなく慢性痛の可能性がります。

「コリやびっコリ」

長引く痛みを悩む、慢性痛の可能性のある人の身体を調べてみると、普段痛い場所とは別のところに、触ると「コリコリ」するものが潜んでいることがわかりました。しかもそれは別の場所にあるのに、押すとなぜか普段痛む場所に激痛が走るのです。

「ここに痛！コリコリの正体」

コリ・・・筋肉に過度な負担がかかり、血行不良などが起こって、筋肉がこわばり、もんだり温めたりすると治ります。

コリコリ・・・専門用語で「トリガーポイント」といい、トリガーとは「引き金」の意味です。

慢性的に筋肉に異常が起こると、神経がずっと痛みの信

号を脳に送り続けます。

すると異常興奮状態がおさまらなくなり、トリガーポイントを生み出します。

痛みの信号を連射されると、脳は混乱状態におちいり、脳は、信号がきた場所を間違えて判断します。

その結果、本当に痛む場所とは違う場所を痛いと感じてしまいます。

「もんでも温めても治らない頑固なコリ」と思っていたほとんどは、脳の錯覚の痛み、つまり「幻」だったのです。

<途中ですが>

話も佳境にはいってききましたが、紙面の都合で割愛させていただきます。

結局、治療としては、ペインクリニックでは「トリガーポイント注射」をするようです。

番組の最後には「鍼治療^{はりちりょう}」も有効であると言っていました。

文献によっては、鍼治療しても効果が出ない場合に「トリガーポイント注射」を進めている医師もいます。

鍼治療は副作用がほとんど考えられませんが、リスクを考えればもつともだと思えます。

鍼灸の「ツボ」の70%は「トリガーポイント」と概ね一致するとも言われています。

また、ドイツのペインクリニックの70%の医師は、鍼治療をしています。

放送翌日に、ある鍼灸治療院には、「番組を見ました」と言って、5名の新しい患者さんが来院したそうです。

当院ではありませんが・・・

まあ、いろいろと書きたいことはありますが、このへんで・・・

菊田はりきょう院

菊田
義美

はり師・きょう師



●受付時間
AM9:00～PM7:00

●定休日
水曜日 土曜日の午後

○予約制となっておりますので、あらかじめお電話ください。



〒960-0112 福島市南矢野目字谷地68-8

☎・FAX 024-597-7389 携帯 090-2274-5845

<http://www8.plala.or.jp/kiku-hari/>